

# 平成 30 年度 第 1 回佐久市男女共同参画審議会 議事録（要旨）

日時：平成 30 年 7 月 3 日（火）

午前 9 時 30 分～11 時

場所：議会棟全員協議会室

出席委員：13 名、（欠席委員 2 名）

事務局：小林市民健康部長、戸塚人権同和課長、日向人権教育男女共生係長、  
人権教育男女共生係 2 名

- 1 開 会 （進行：小林市民健康部長）
- 2 委嘱書の交付 （柳田市長）新任 7 名、再任 8 名
- 3 市長あいさつ
- 4 自己紹介 （全員）  
成立宣言 （戸塚人権同和課長）
- 5 会長及び副会長の選出  
会長：中村直子、副会長：佐々木知子  
会長及び副会長あいさつ
- 6 会議事項 （進行：中村会長）
  - （1）平成 29 年度男女共同参画推進に関する施策の事業報告について  
（事務局より説明）
    - 資料 1 平成 29 年度 男女共同参画推進に関する施策の事業報告
    - 資料 2 平成 29 年度 第 3 次男女共同参画プラン関連事業実績報告

## 【意見】

（委員）昨年の市民フォーラムに参加させていただきました。仕事をしながらの子育ては、子供が急に体調を崩すことが多々あります。そんな時は地域の繋がりが凄く大事「助けて」「困っている」といえる地域づくりが必要。

（委員）男女共同参画事業者表彰をいただきましたが、女性の働きやすい職場づくりを目標としています。特に子どもさんがいる社員が子育てを終えて、また復職し確実に働ける職場づくりをしている。毎年 3 名程産休を取っている、誰も気兼ねなく取得できる。子どもも諦めず、仕事も諦めない環境を当たり前になる職場づくりの活動をし、目標値として仕事のし易さ「ワークライフバランス」働き方改革を盛り込みながら毎年計画し実行している。これから更に進めていきたいことは、女性の管理職の創出。事業主として出来ることをしっかりやっていきたい。

- （2）平成 30 年度男女共同参画推進に関する施策の事業計画について  
（事務局より説明）

資料 3 平成 30 年度 男女共同参画推進に関する施策の事業計画

資料4 平成30年度 第3次男女共同参画プラン関連事業計画

【意見】

(委員) 人権・男女共生フェスティバルの開催について、昨年参加をさせていただき、講師が露の団姫さんという落語家でお話も楽しかった。この方は僧侶で、ご主人はキリスト教徒、夫婦で宗教が違っても、お互いを尊重し合い上手くいっているお話を伺い目からうろこが落ちる経験をさせてもらいました。今回も11月23日に予定され、講師は未定ですが、素晴らしい講演を期待しています。

(委員) 意見を述べやすい説明の仕方をお願いしたい。例えば計画についてなら、今年はここに力を入れてやっていきたいとか、講師はどういう方がいいですか、など意見の言いやすい審議会に是非事務局でもう少し工夫をして欲しい。1.2.3節で区切りとか、担当者の生の声を言ってもらえば、私たちの生の声を言える。是非そんな工夫をしていただきたいと思います。

(会長) 事務局はご検討いただき、委員の皆さんが意見を言いやすいようお願いします。

(事務局) 今後、工夫しより皆さんの声を聞きやすい、またご発言しやすい場にしていきたいと思います。

(委員) 自分の一番関心のあるところで話をさせていただきます。地域、色々な人の意識アンケート、平成22年と29年では男女平等の意識が良くなっていると思っていた。年代的にどうか考え、現状問題を地域の人にどう示すか。若者に対して私たち、国を含めてどのように語りかけていくか、若者の意識を変えていかなければいけないと私は思っています。今若者がどのような所に意識があり、情報を得ているかだと思う。「君たちはどう生きるか」という漫画が売れている。若い人がスッと入っていきやすい物を国が出してくれるとよう投げかけて欲しいと思いました。

(委員) 先ほど、会の運営についてのお話がありましたが、広い分野に渡っての意識の改革を図り、多岐に渡る分短時間での運営は難しいのではないかと思います。最近の子ども育児をめぐる事件を見ていると、家庭的、社会的の中での男女共同参画のバランスが取れていかないと健全な子育てが社会として実現していくことは難しいと考えています。私は、障がいを持っている子どもさん300人位の支援をやってきました。社会的、家庭的な支援の裾野を広げていきたい視点が自分のプロ意識としてあり、見たりしてきたことを何か発言したいと思っている。多岐にわたり社会全体を変えようとする事業なので課の運営の難しさがあると思うが、出来ればもう少し時間をかけて色々な意見が出されていく形だと参加する方としてもありがたい気がする。

(委員) 男女共同参画に関しては、人権同和課だけではできず、市の全ての課が取り組まなければならない問題で、市全体の中でどのような動きをしていきたいということを、ここで皆さんの話を聞いて流してもらわないと、この会としてやるべきことができない。子育て支援課にしても、どこの協議会にしても色々な所で

男女参画をしていかなければ今の社会は太刀打ちできないことは重々わかっている話。そのトップに立つ場としてしっかり審議していただきと思いました。

(委員) 常日頃、女性が仕事をする難しさと、子育てと仕事の両立の難しさに常に壁に当たっている。自分だけでなくみんな壁に当たっている中で、皆さんが男女共同参画の活動して下さっていて、男女が仕事をしていけることを知る良い機会だと思っている。

(委員) 9月に子どもが生まれますが、どこで生んで育てるが重要なことだと思っています。何が必要かは実際にやってみないとわからないことが多いが、説明を聞いて、様々なことに取組んでいただいていることが分かった。具体的にこれからですが、佐久市で良い子育てが出来るようにやっていただければと思います。

### (3) その他

#### 【意見】

(委員) 当初この会は懇話会ということで発足し、条例を作るということで審議しました。会議も何回も持つ中で委員さん同志が親しくなりコミュニケーションも取れるようになると発言も非常に出やすくなる。できればこの審議委員会も回数を多くできればそれなりに皆さんの意見も出てくるのではないかと思います。

(事務局) 次回の進行につきましては、事務局と詰めまして見直しをしていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

### 7 その他

#### (事務局) 事務連絡

- ・ 7月7日開催 “あいとぴあ” 男女共同参画フォーラム 及び  
8月30日開催 平成30年度男女共同参画推進フォーラム 参加について
- ・ とともに生きる佐久制作DVDの貸し出しについて

(副会長) とともに生きる佐久が活動してきた中で、働きやすい職場づくりをするのはどうしたらよいかなど、5つのテーマに分けて、佐久大学の生徒さんに協力いただき作成しました。色々な機会に色々な方に見ていただきたいということで、佐久ケーブルTVで夜放送していただいています。5つのテーマひとつが、15分から20分になっています。ぜひ見ていただきたいと思います。

### 8 閉 会 (小林市民健康部長)